# 平成18年12月期 個別財務諸表の概要

上場会社名 株式会社アサツー ディ・ケイ

コード番号

9747

(URL http://www.adk.jp/ir/index.html)

役職名 問合せ先責任者

取締役社長 役職名

特別顧問

鎌

長 沼 孝一郎

徳 弥 TEL(03)3547-2028

単元株制度採用の有無 有(1単元100株)

定時株主総会開催日

決算取締役会開催日

平成19年2月14日 平成19年3月28日

配当支払開始日 平成19年3月13日

1. 18年12月期の業績(平成18年1月1日~平成18年12月31日)

(1)経営成績

(百万円未満切捨)

	売上高	前	営業	利益	経常利益		
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	
18年12月期	378, 804	$\triangle$ 1.6	5, 523	△ 18.0	7, 500	△ 19.2	
17年12月期	384, 849	2.9	6, 733	△ 8.9	9, 284	3. 3	

	当期純	利益	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり当期純利益		自 己 資 本 当期純利益率	総 資 産 経常利益率	売 上 高 経常利益率
	百万円	%	円	銭	円	銭	%	%	%
18年12月期	4, 235	△ 21.3	89	06	_	_	3. 5	3. 4	2.0
17年12月期	5, 382	15. 6	111	23	_	_	4. 7	4. 3	2.4

(注)①期中平均株式数

18年12月期

47,557,502 株

17年12月期

48,391,630 株

平成19年2月14日

本社所在都道府県

上場取引所 東

東京都

②会計処理の方法の変更

無

③売上高、営業利益、経常利益、当期純利益におけるパーセント表示は、対前期増減率であります。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己 資本比率	1株当たり 純資産	
	百万円	百万円	%	円	銭
18年12月期	227, 299	124, 354	54. 7	2,640	40
17年12月期	219, 546	120, 328	54.8	2,509	31

(注)①期末発行済株式数

18年12月期

47,096,993 株

17年12月期

47,952,849 株

②期末自己株式数

18年12月期

4,558,407 株

17年12月期

3,702,551 株

#### 2. 19年12月期の業績予想(平成19年1月1日~平成19年12月31日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	199, 500	5, 170	3, 220
通 期	391,000	8,800	5, 300

(参考)1株当たり予想当期純利益(通期)

112円 53 銭

# 3. 配当状况

9 · HL - / \//								
・現金配当		1 株 🗎	当たり配当金	配当金総額	配当性向	純資産配当率		
	第1四半期末	中間期末	第3四半期末	期末	年間	(百万円)	(%)	(%)
17年12月期	_	10.00	_	26.00	36.00	1, 731	32. 4	1. 4
18年12月期	_	10.00	_	17.00	27.00	1, 275	30. 3	1.0
19年12月期 (予想)	_	10.00		36, 00	46, 00			

(注) 18年12月期期末配当金の内訳

普通配当 17円00銭

※平成19年12月期の業績予想の関連情報及びご利用にあたっての注意事項等につきましては、 それぞれ決算短信(連結)9~20ページをご参照下さい。

# (1) 財務諸表

# ① 貸借対照表

		前事業年度 (平成17年12月31	1月)	当事業年度 (平成18年12月31	1月)	比較増減
区分	注記 番号	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)
(資産の部)						
I 流動資産						
1 現金及び預金		11, 360		11, 098		△262
2 受取手形	<b>※</b> 4, 8	9, 212		8, 261		△951
3 売掛金	<b>※</b> 4	82, 952		81, 444		△1,508
4 有価証券		2, 408		4, 445		2, 037
5 制作支出金	<b>※</b> 3	5, 685		5, 477		△207
6 未収入金		699		842		142
7 前渡金		309		584		274
8 前払費用		105		161		55
9 繰延税金資産		471		489		17
10 その他		1, 169		1, 083		△86
11 貸倒引当金		△553		△627		△74
流動資産合計		113, 823	51.8	113, 261	49.8	△562
Ⅱ 固定資産						
(1) 有形固定資産	<b>※</b> 1					
1 建物		1, 281		1, 215		△65
2 構築物		33		29		$\triangle 3$
3 車両運搬具		28		37		8
4 器具備品		338		274		△63
5 土地		373		373		_
有形固定資産合計		2, 055	1.0	1, 930	0.9	△124
(2) 無形固定資産						
1 借地権		1		1		_
2 ソフトウェア		1,742		1, 344		△397
3 その他		77		77		$\triangle 0$
無形固定資産合計		1,821	0.8	1, 424	0.6	△397

			前事業年度 (平成17年12月31	日)	当事業年度 (平成18年12月31	1目)	比較増減
	区分	注記 番号	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)
(3) ‡	投資その他の資産						
1	投資有価証券	<b>※</b> 2	45, 170		43, 266		△1, 903
2	関係会社株式		48, 225		58, 895		10, 669
3	出資金		114		11		△103
4	関係会社出資金		286		236		△50
5	長期貸付金		150		15		△135
6	従業員長期貸付金		237		253		16
7	関係会社長期 貸付金		613		461		△152
8	長期預金		2, 440		2, 745		305
9	破産・更生債権等		325		408		82
10	長期前払費用		1		10		9
11	差入保証金		3, 523		3, 548		24
12	その他		1, 916		1, 917		1
13	貸倒引当金		△1, 160		△1,087		73
	投資その他の資産 合計		101, 845	46. 4	110, 682	48. 7	8, 836
	固定資産合計		105, 722	48. 2	114, 037	50. 2	8, 315
	資産合計		219, 546	100	227, 299	100	7, 752

		前事業年度		当事業年度		比較増減
		(平成17年12月31		(平成18年12月31		20年87日198
区分	注記 番号	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)
(負債の部)						
I 流動負債						
1 支払手形	<b>¾</b> 4, 8	23, 395		21, 083		△2, 311
2 買掛金	<b>※</b> 4	56, 672		57, 811		1, 138
3 未払金		2, 006		2, 326		319
4 未払法人税等		748		2, 497		1, 749
5 前受金		295		133		△161
6 預り金		382		537		155
7 賞与引当金		120		_		△120
8 その他		419		417		$\triangle 2$
流動負債合計		84, 039	38. 3	84, 807	37. 3	767
Ⅱ 固定負債						
1 繰延税金負債		12, 403		16, 122		3, 718
2 退職給付引当金		2, 015		930		△1, 084
3 役員退職慰労引当金		635		681		46
4 債務保証損失引当金		_		300		300
5 その他		123		102		△21
固定負債合計		15, 178	6. 9	18, 137	8. 0	2, 959
負債合計	-	99, 217	45. 2	102, 944	45. 3	3, 726
(資本の部)	=					
I 資本金	<b>※</b> 5	37, 581	17. 1	_		
Ⅱ 資本剰余金						
1 資本準備金		7, 839		_		
2 その他資本剰余金						
(1) 資本準備金減少差益		32, 767		_		
(2) 自己株式処分差益		0		_		
資本剰余金合計	-	40, 607	18. 5	_	_	
Ⅲ 利益剰余金						
1 利益準備金		1, 555		_		
2 任意積立金						
(1) 配当準備積立金		1, 100		_		
(2) 別途積立金		21,719		_		
任意積立金合計		22, 819		_		
3 当期未処分利益		6, 472		_		
利益剰余金合計		30, 847	14. 0	_	_	
IV その他有価証券 評価差額金		20, 982	9. 6	_		
V自己株式		△9, 690	△4. 4	_	_	
資本合計		120, 328	54. 8		_	
負債及び資本合計		219, 546	100		_	
		,			-	

		前事業年度 (平成17年12月31	日)	当事業年度 (平成18年12月31	.日)	比較増減
区分	注記 番号	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)	構成比 (%)	金額(百万円)
(純資産の部)						
I 株主資本						
1 資本金		_	_	37, 581	16. 5	
2 資本剰余金						
(1) 資本準備金		_		7, 839		
(2) その他資本剰余金		_		32, 768		
資本剰余金合計	-		_	40, 607	17. 9	
3 利益剰余金						
(1) 利益準備金		_		1, 555		
(2) その他利益剰余金						
配当準備積立金		_		1, 100		
別途積立金		_		25, 219		
繰越利益剰余金		_		5, 486		
利益剰余金合計		_	_	33, 361	14. 7	
4 自己株式		_	_	△12, 973	△5. 7	
株主資本合計		_	_	98, 576	43. 4	
Ⅱ 評価・換算差額等						
1 その他有価証券 評価差額金		_		25, 776	11. 3	
2 繰延ヘッジ損益		_	_	1	0.0	
評価・換算差額等 合計		_	_	25, 777	11. 3	
純資産合計		_	_	124, 354	54. 7	
負債及び純資産合計		_	_	227, 299	100	

# ② 損益計算書

		(自 平)	前事業年度 成17年1月 成17年12月		(自 平)	4事業年度 成18年1月 成18年12月		比較増減	
区分	注記 番号	金額(音	金額(百万円)		金額(百万円)		百分比(%)	金額(百万円)	
I 売上高									
1 広告取扱高		249, 987							
2 制作売上高		134, 861	384, 849	100		378, 804	100		$\triangle 6,045$
Ⅱ 売上原価									
1 広告取扱仕入高		223, 114							
2 制作費		123, 131	346, 245	90.0		340, 072	89.8	-	△6, 173
売上総利益			38, 603	10.0		38, 731	10. 2		127
Ⅲ 販売費及び一般管理費	<b>※</b> 1								
1 貸倒引当金繰入額		_			100			100	
2 交際費		641			739			97	
3 給与手当		16, 995			17, 945			949	
4 賞与引当金繰入額		120			_			△120	
5 退職給付費用		1, 532			1, 580			48	
6 役員退職慰労 引当金繰入額		50			51			1	
7 法定福利費		1, 580			1, 559			△21	
8 旅費交通費		983			1,028			45	
9 賃借料		2, 301			2, 288			$\triangle 13$	
10 コンピューター費		2, 166			2, 189			22	
11 減価償却費		232			179			△53	
12 その他		5, 265	31, 870	8.3	5, 545	33, 208	8. 7	280	1, 337
営業利益			6, 733	1.7		5, 523	1.5		△1, 209
IV 営業外収益									
1 受取利息		93			110			16	
2 有価証券利息		232			214			△18	
3 受取配当金	<b>※</b> 2	1, 192			1, 314			121	
4 生命保険契約配当金		86			84			$\triangle 2$	
5 為替差益		453			183			△269	
6 その他		543	2, 602	0.7	254	2, 162	0.5	△288	△439
V 営業外費用									
1 売上割引		6			4			$\triangle 1$	
2 不動産賃貸費用		19			19			0	
3 事業組合運用損		9			_			$\triangle 9$	
4 信託運用損		_			98			98	
5 投資事業組合運用損		_			45			45	
6 その他		15	50	0.0	18	185	0.0	2	134
経常利益			9, 284	2. 4		7, 500	2.0		△1, 783

			(自 平)	了事業年度 成17年 1 月 成17年12月		(自 平)	4事業年度 成18年1月 成18年12月		比較増減	
	区分	注記 番号	金額(音	金額(百万円)		金額(百万円)		百分比 (%)	金額(百万円)	
VI ‡	<b></b>									
1	投資有価証券売却益		1, 153			1,651			498	
2	貸倒引当金戻入益		71			6			$\triangle 64$	
3	その他		_	1, 224	0.3	0	1, 658	0.4	0	434
VII ‡	時別損失									
1	固定資産売却損	<b>※</b> 3	19			1			△18	
2	固定資産除却損	<b>※</b> 4	13			9			$\triangle 4$	
3	投資有価証券評価損	<b>※</b> 5	144			353			209	
4	投資有価証券売却損		33			1			△31	
5	関係会社株式評価損	<b>※</b> 5	128			4			△123	
6	貸倒引当金繰入額		164			3			△160	
7	債務保証損失引当金 繰入額		_			300			300	
8	特別退職金	<b>※</b> 6	59			63			3	
9	50周年記念費		_			134			134	
10	その他		_	563	0. 1	22	894	0.2	22	331
	税引前当期純利益			9, 945	2. 6		8, 264	2. 2		△1,681
	法人税、住民税 及び事業税		2, 449			3, 618			1, 169	
	法人税等調整額		2, 114	4, 563	1.2	410	4, 028	1. 1	△1, 703	△534
	当期純利益			5, 382	1.4		4, 235	1. 1		△1, 146
	前期繰越利益			1, 574			_			
	中間配当額			484			_			
	当期未処分利益			6, 472			_			

# ③ 利益処分計算書

		前事業年度 株主総会承認日 (平成18年3月30日)				
区分	注記 番号	金額(百万円)				
I 当期未処分利益			6, 472			
Ⅱ 利益処分額						
1 配当金		1, 246				
2 別途積立金		3, 500	4, 746			
Ⅲ 次期繰越利益			1, 726			
	1					

<sup>(</sup>注) 前事業年度につきましては、平成17年6月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載された株主に対して、平成17年9月26日付で1株につき10円、総額484百万円の中間配当を実施いたしました。

# ④ 株主資本等変動計算書

当事業年度(自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)

	株主資本						
	次十八	資本剰余金					
	資本金	資本準備金	その他資本剰余金	資本剰余金合計			
平成17年12月31日残高 (百万円)	37, 581	7, 839	32, 768	40, 608			
事業年度中の変動額							
剰余金の配当	_	_	_	_			
別途積立金の積立	_	_	_	_			
当期純利益	_	_	_	_			
自己株式の取得	_	_	_	_			
自己株式の処分	_	_	0	0			
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	_	_	_	_			
事業年度中の変動額合計 (百万円)	_	_	0	0			
平成18年12月31日残高 (百万円)	37, 581	7, 839	32, 768	40, 608			

	株主資本						
	利益剰余金						
		その	他利益剰分	全金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計
	利益準備金	配当準備	別途	繰越利益	利益利未並 合計		
		積立金	積立金	剰余金	口目		
平成17年12月31日残高 (百万円)	1, 555	1, 100	21, 719	6, 472	30, 847	△9, 690	99, 346
事業年度中の変動額							
剰余金の配当	_	_	_	△1,721	△1,721		△1,721
別途積立金の積立	_	_	3, 500	△3, 500	_	_	_
当期純利益	_	_	_	4, 235	4, 235	_	4, 235
自己株式の取得	_	_	_	_	_	△3, 283	△3, 283
自己株式の処分	_	_	_	_	_	0	0
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	_	_	_	_	_	_	_
事業年度中の変動額合計 (百万円)	_	_	3, 500	△986	2, 513	△3, 283	△769
平成18年12月31日残高 (百万円)	1, 555	1, 100	25, 219	5, 486	33, 361	△12, 973	98, 576

		評価・換算差額等				
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	評価・換算 差額等合計	純資産合計		
平成17年12月31日残高 (百万円)	20, 982	_	20, 982	120, 328		
事業年度中の変動額						
剰余金の配当	_	_	_	△1,721		
別途積立金の積立	_	_	_	_		
当期純利益	_	_	_	4, 235		
自己株式の取得	_	_	_	△3, 283		
自己株式の処分	_	_	_	0		
株主資本以外の項目の 事業年度中の変動額(純額)	4, 794	1	4, 795	4, 795		
事業年度中の変動額合計 (百万円)	4, 794	1	4, 795	4, 026		
平成18年12月31日残高 (百万円)	25, 776	1	25, 777	124, 354		

# 重要な会計方針

	前事業年度	当事業年度
項目	(自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)	(自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)
1 有価証券の評価基準及び 評価方法	子会社株式及び関連会社株式 総平均法による原価法	子会社株式及び関連会社株式 同左
	その他有価証券	その他有価証券
	時価のあるもの 決算末日の市場価額等に基づく	時価のあるもの 決算末日の市場価額等に基づく
	時価法(評価差額は全部資本直入	時価法(評価差額は全部純資産
	法により処理し、売却原価は総平	直入法により処理し、売却原価
	均法により算定)	は総平均法により算定)
	時価のないもの	時価のないもの
2 たな卸資産の評価基準及	総平均法による原価法 個別法による原価法	同左 同左
び評価方法	個別伝による原価伝	四左
3 デリバティブ取引により	時価法	同左
生じる正味の債権(及び		
債務) の評価基準及び評 価方法		
4 固定資産の減価償却の方	有形固定資産	有形固定資産
法	定率法	同左
	ただし、平成10年4月1日以降取	
	得の建物(建物附属設備を除く) については定額法を採用してお	
	ります。	
	なお、主な耐用年数は以下の通り	
	であります。	
	建物 10~50年	
	器具備品 5~10年	for and the Manager
	無形固定資産 定額法	無形固定資産 同左
	足額伝   なお、ソフトウェア(自社利用分)	円左
	については、社内における利用可	
	能期間(5年)に基づく定額法によ	
= = = = = = = = = = = = = = = = = = =	っております。	
5 引当金の計上基準 (1) 貸倒引当金	<b>                                      </b>	同左
(1) 具間切目並	債権の貸倒損失に備えるため、一般 債権については貸倒実績率により、貸	刊在
	倒懸念債権等特定の債権については、	
	個別に回収可能性を検討し、回収不能	
A Maria	見込額を計上しております。	
(2) 賞与引当金	従業員の賞与の支出に備えるため、	<b>⊟</b> +-
	支給見込額に基づき計上しておりま   す。	同左
	/ 0	

	V	MA HANDA DA LA
項目	前事業年度 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)	当事業年度 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)
(3) 退職給付引当金 (4) 役員退職慰労引当金	従業員の退職給付に備えるため、当期末における退職給付債務および年金資産の見込額に基づき計上しております。 なお、数理計算上の差異については、各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(13年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生の翌期から費用処理することとしており、過去勤務債務は、発生時に全額費用処理しております。 取締役及び監査役の退職慰労金の支出	同左
	に備えるため、内規に基づく当期末要 支給額を計上しております。	同左
(5) 債務保証損失引当金		保証債務の履行による損失に備える ため、被保証先の財政状態等を勘案し て、損失負担見込額を計上しておりま す。
6 収益の計上基準		
(1) 広告取扱高	雑誌・新聞については広告掲載日、 テレビ・ラジオについては、放送日に よっております。	広告取扱高 雑誌・新聞・デジタルメディアについては広告掲載日、00H(アオト・オブ・ホームメディア)は広告掲出日、テレビ・ラジオについては、放送日によっております。
(2)制作売上高	広告物の納入日によっております。	制作売上高 広告物の納入日によっております。
7 ヘッジ会計の方法	(1) ヘッジ会計の方法 繰延ヘッジ処理によっております。 ただし、外貨建金銭債権債務をヘッジ対象とする為替予約については振 当処理によっております。 (2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	<ul> <li>(1) ヘッジ会計の方法 同左</li> <li>(2) ヘッジ手段とヘッジ対象 ヘッジ手段 同左 ヘッジ対象 同左</li> <li>(3) ヘッジ方針 同左</li> </ul>

T		
項目	前事業年度 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)	当事業年度 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)
	(4) ヘッジ有効性評価の方法 当社が利用している為替予約取引 は、リスク管理方針に従い実需によ り実行しており、原則として為替予 約の締結時に、ヘッジ対象と同一通 貨建による同一金額で同一期日の為 替予約を振当てているため、その後 の為替相場の変動による相関関係は 完全に確保されているので、決算日 における有効性の評価を省略してお ります。	(4) ヘッジ有効性評価の方法 同左
8 リース取引の処理方法	リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっております。	同左
9 その他財務諸表作成のた めの基本となる重要な事 項		
(1) 消費税等の会計処理	消費税および地方消費税については 税抜方式によっております。	同左

# (会計処理の変更)

前事業年度 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)	当事業年度 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)
	(貸借対照表の純資産の部の表示に関する会計基準) 当事業年度より「貸借対照表の純資産の部の表示に 関する会計基準」(企業会計基準第5号 平成17年12 月9日)および「貸借対照表の純資産の部の表示に関 する会計基準等の適用指針」(企業会計基準適用指針 第8号 平成17年12月9日)を適用しております。 これによる損益に与える影響はありません。 なお、従来の資本の部合計に相当する金額は124,353 百万円であります。 また、財務諸表等規則の改正により、当事業年度に おける貸借対照表は改正後の財務諸表規則により作成 しております。

# (表示方法の変更)

前事業年度 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)	当事業年度 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)
(貸借対照表関係) 1 前事業年度において投資その他の資産の「その他」に含めて表示しておりました「長期預金」(前事業年度1,300百万円)は総資産の1/100を超えたため、当事業年度より区分掲記しております。	
2 「証券取引法等の一部を改正する法律」(平成16年 法律第97号)が平成16年6月9日に公布され、平成16 年12月1日より適用されたことおよび「金融商品会 計に関する実務指針」(会計制度委員会報告第14号) が平成17年2月15日付で改正されたことに伴い、当 事業年度から、従来、投資その他の資産の「出資 金」として表示していた投資事業有限責任組合およ びそれに類する組合への出資(証券取引法第2条第2 項により有価証券とみなされるもの)を「投資有価証 券」として表示する方法に変更いたしました。 なお、当事業年度の「投資有価証券」に含まれる 当該出資の額は、713百万円であります。	

# 追加情報

前事業年度	当事業年度
(自 平成17年1月1日	(自 平成18年1月1日
至 平成17年12月31日)	至 平成18年12月31日)
(法人事業税における外形標準課税) 「地方税法等の一部を改正する法律」(平成15年法律第9号)が平成15年3月31日に公布され、平成16年4月1日以後に開始する事業年度より外形標準課税制度が導入されたことに伴い、当事業年度から「法人事業税における外形標準課税部分の損益計算書上の表示についての実務上の取扱い」(平成16年2月13日企業会計基準委員会実務対応報告第12号)に従い法人事業税の付加価値割及び資本割については、販売費及び一般管理費に計上しております。 この結果、販売費及び一般管理費が291百万円増加し、営業利益、経常利益及び税引前当期純利益が、それぞれ291百万円減少しております。	

# 注記事項

(貸借対照表関係)

前事業年度 (平成17年12月31日)			当事業年度 (平成18年12月31日)		
<b>※</b> 1	有形固定資産の減価償却累計額	1,566百万円	<b>※</b> 1	有形固定資産の減価償却累計額	1,685百万円
<b>※</b> 2	取引先に対する営業保証金の代用	として差入れて	<b>※</b> 2	取引先に対する営業保証金の代用	月として差入れて
J	いるものが次のとおりあります。		J	いるものが次のとおりあります。	
	投資有価証券	166百万円		投資有価証券	128百万円
<b>※</b> 3	広告物の制作等はもっぱら外注に	依存しており、	₩3	同左	
-	工程毎にそれぞれの外注先を使用 <sup>、</sup>	するのが通常と			
7	なっております。よって制作工程	の途中にあるも			
(	ので、すでに役務提供等の終了し	た工程に係る外			
ì	生先への支払額および支払の確定	した金額を集計			
	したものであります。				
<b>※</b> 4	関係会社に係る注記		※4 関係会社に係る注記		
	区分掲載されたもの以外で各科目	に含まれている	区分掲載されたもの以外で各科目に含まれている		
	関係会社に対するもののうち主なも	のは次のとおり	Ī	関係会社に対するもののうち主なも	のは次のとおり
-	であります。		-	であります。	
	受取手形及び売掛金	1,497百万円		受取手形及び売掛金	1,486百万円
	支払手形及び買掛金	2,321百万円		買掛金	2,055百万円
<b>※</b> 5	会社が発行する株式の総数		<b>※</b> 5		
	普通株式	206,000,000株			
	発行済株式の総数				
	普通株式	51,655,400株			
6	配当制限		6		
	商法施行規則第124条第3号に規	定する資産に時			
1	価を付したことにより増加した純資	<b>資産額は 20,955</b>			
Ī	百万円であります。				

前事業年度 (平成17年12月31日	当事業年度 (平成18年12月31日)			
7 偶発債務		7 偶発債務		
次のとおり債務保証を行って	おります。	次のとおり債務保	R証を行って	ております。
㈱ADKインターナショ <sub>買掛金</sub> ナル	73百万円	㈱ADKインターナショ ナル		6百万円
㈱トライコミュニケー 買掛金 ション	1百万円	㈱トライコミュニケー ション	買掛金	3百万円
DIK-OCEAN Advertising 借入金 Co.,Ltd.	64百万円	DIK-OCEAN Advertising Co., Ltd.	借入金	77百万円
ASATSU-DK (Malaysia) 借入金Sdn. Bhd.	17百万円	ASATSU-DK(Malaysia) Sdn. Bhd.	借入金	15百万円
ASATSU-DK SINGAPORE 借入金 Pte.Ltd.	206百万円	ASATSU-DK SINGAPORE Pte.Ltd.	借入金	248百万円
北京第一企画広告 借入金 有限公司	1,460百万円	IMMG Pte.Ltd.	借入金	62百万円
北京華聞旭通国際広告 借入金 有限公司	354百万円	Asatsu (Thailand) Co.,Ltd.	借入金	51百万円
広東広旭広告有限公司借入金	14百万円	北京第一企画広告 有限公司	借入金	744百万円
PT. Asta Atria Surya 借入金	12百万円	北京華聞旭通国際広告 有限公司	借入金	47百万円
マインドシェア・ <u>ジャパン㈱</u> 計	89百万円 2,292百万円	広東広旭広告有限公司	]借入金	15百万円
上記のうち、マインドシェア	・ジャパン㈱以外の	マインドシェア・ <u>ジャパン</u> ㈱	買掛金	30百万円
保証債務については、関係会社	に対するものであり	計		1,303百万円
ます。				ア・ジャパン㈱以外の
		保証債務についてに   ます。	は、関係会	社に対するものであり
※8 当事業年度末日は金融機関の	休日でありますが、	※8 当事業年度末日に	は金融機関の	の休日でありますが、
当該期日の満期手形の会計処理	当該期日の満期手刑	の会計処3	理は、満期日に決済が	
行われたものとして処理してお	ります。その金額は	行われたものとして	(処理して)	おります。その金額は
次のとおりであります。		次のとおりでありま	(す。	
受取手形	994百万円	受取手形		776百万円
支払手形	1,546百万円	支払手形		1,005百万円

# (損益計算書関係)

	前事業年度 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)			当事業年度 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日	
<b>※</b> 1	販売費及び一般管理費に含まれる研究	開発費は、	<b>※</b> 1	販売費及び一般管理費に含まれる	る研究開発費は、
8	72百万円であります。		8	41百万円であります。	
<b>※</b> 2	受取配当金のうち関係会社からのもの	795百万円	<b>※</b> 2	受取配当金のうち関係会社からの	のもの 980百万円
₩3	固定資産売却損の内訳は次のとおりで	あります。	₩3	固定資産売却損の内訳は次のとは	おりであります。
	建物	12百万円		建物	0百万円
	車輌運搬具	0百万円		車輌運搬具	1百万円
	器具備品	0百万円		計	1百万円
	土地	6百万円			
	<b>計</b>	19百万円			
<b>※</b> 4	固定資産除却損の内訳は次のとおりで	あります。	<b>※</b> 4	固定資産除却損の内訳は次のとは	おりであります。
	建物	1百万円		建物	0百万円
	車両運搬具	1百万円		車両運搬具	1百万円
	器具備品	11百万円		器具備品	7百万円
	<b>∄</b> †	13百万円		計	9百万円
<b>※</b> 5	減損処理にともなうものであります。		<b>※</b> 5	同左	
<b>※</b> 6	特別転進支援措置による退職者に支給	した退職加	<b>※</b> 6	同左	
貨	章金であります。				

#### (株主資本等変動計算書関係)

当事業年度(自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)

# 1 発行済株式の種類及び総数並びに自己株式の種類及び株式数に関する事項

	前事業年度末	当事業年度	当事業年度	当事業年度末		
	株式数 (株)	増加株式数 (株)	減少株式数(株)	株式数 (株)		
発行済株式						
普通株式	51, 655, 400			51, 655, 400		
合計	51, 655, 400	_	_	51, 655, 400		
自己株式						
普通株式	3, 702, 551	855, 861	5	4, 558, 407		
合計	3, 702, 551	855, 861	5	4, 558, 407		

# (変動事由の概要)

増加数の主な内訳は、次のとおりであります。

取締役会決議による買取りによる増加 850,000 株

単元未満株式の買取りによる増加 5,861 株

減少数の主な内訳は、次のとおりあります。

単元未満株式の買増請求による減少 5 株

#### (リース取引関係)

前事業年度

(自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの 以外のファイナンス・リース取引

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期末残高 相当額							
	(百万円)	(百万円)	(百万円)							
器具備品	2, 872	1,724	1, 147							
ソフトウェア	358	168	189							
合計	3, 230	1, 892	1, 337							

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1年以内564百万円1年超799百万円合計1,364百万円

(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料770百万円減価償却費相当額736百万円支払利息相当額29百万円

(4) 減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(5) 利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額 を利息相当額とし、各期への配分方法については、利 息法によっております。

(減損損失について)

リース資産に配分された減損損失はありませんので、項目等の記載は省略しております。

当事業年度

(自 平成18年1月1日

至 平成18年12月31日)

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの 以外のファイナンス・リース取引

(1) リース物件の取得価額相当額、減価償却累計額相当額及び期末残高相当額

	取得価額 相当額	減価償却 累計額 相当額	期末残高 相当額
	(百万円)	(百万円)	(百万円)
車両運搬具	4	0	4
器具備品	2, 414	1, 408	1,006
ソフトウェア	338	90	247
合計	2, 757	1, 499	1, 257

(2) 未経過リース料期末残高相当額

1年以内525百万円1年超759百万円合計1,284百万円

(3) 支払リース料、減価償却費相当額及び支払利息相当額

支払リース料659百万円減価償却費相当額633百万円支払利息相当額25百万円

(4) 減価償却費相当額の算定方法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

(5) 利息相当額の算定方法

リース料総額とリース物件の取得価額相当額の差額 を利息相当額とし、各期への配分方法については、利 息法によっております。

(減損損失について)

リース資産に配分された減損損失はありませんの で、項目等の記載は省略しております。

#### (有価証券関係)

前事業年度(平成17年12月31日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

種類	貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)		
関連会社株式	1, 432	32, 544	31, 111		

# 当事業年度(平成18年12月31日)

子会社株式及び関連会社株式で時価のあるもの

種類	貸借対照表計上額 (百万円)	時価(百万円)	差額(百万円)	
関連会社株式	1, 432	8, 344	6, 912	

# (税効果会計関係)

前事業年度 (自 平成17年1月1 至 平成17年12月31		当事業年度 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)				
1 繰延税金資産及び繰延税金負債の	発生の主な原因別	1 繰延税金資産及び繰延税金負債の	)発生の主な原因別			
の内訳		の内訳				
(繰延税金資産)		(繰延税金資産)				
流動資産		流動資産				
貸倒引当金限度超過額	134百万円	貸倒引当金限度超過額	127百万円			
賞与引当金限度超過額	48百万円	賞与引当金限度超過額	- 百万円			
その他	288百万円	その他	362百万円			
<u>-</u>	471百万円	<u>-</u>	489百万円			
固定資産		固定資産				
貸倒引当金限度超過額	449百万円	貸倒引当金限度超過額	405百万円			
退職給付引当金限度超過額	681百万円	退職給付引当金限度超過額	311百万円			
投資有価証券(関係会社株式を含む)評価損	485百万円	投資有価証券(関係会社株式 を含む)評価損	434百万円			
その他	368百万円	その他	386百万円			
繰延税金資産小計	1,984百万円	繰延税金資産小計	1,537百万円			
繰延税金負債との相殺	△1,984百万円	繰延税金負債との相殺	△1,537百万円			
<b>計</b>	0百万円	<u>-</u>	0百万円			
繰延税金資産合計	471百万円	繰延税金資産合計	489百万円			
(繰延税金負債)		(繰延税金負債)				
固定負債		固定負債				
その他有価証券評価差額金	14,388百万円	その他有価証券評価差額金	17,660百万円			
繰延税金資産との相殺	△1,984百万円	繰延税金資産との相殺	△1,537百万円			
繰延税金負債合計	12,403百万円	繰延税金負債合計	16,122百万円			
繰延税金負債の純額	11,931百万円	繰延税金負債の純額	15,632百万円			

前事業年度 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日)		当事業年度 (自 平成18年1月1日 至 平成18年12月31日)				
2 法定実効税率と税効果適用後の法人の差異の原因となった主な項目別の内		2 法定実効税率と税効果適用後の法人税等の負担率と の差異の原因となった主な項目別の内訳				
法定実効税率 (調整)	40.69%	法定実効税率 (調整)	40.69%			
交際費等永久に損金に 算入されない項目	4. 23%	交際費等永久に損金に 算入されない項目	6. 27%			
受取配当金等永久に益金に 算入されない項目	△0.85%	受取配当金等永久に益金に 算入されない項目	△1.17%			
住民税均等割等	0. 26%	住民税均等割等	0. 13%			
その他	1.55%	その他	2.83%			
税効果会計適用後の 法人税等の負担率	45. 88%	税効果会計適用後の 法人税等の負担率	48.75%			

# (1株当たり情報)

前事業年度 (自 平成17年1月1日 至 平成17年12月31日	)	当事業年, (自 平成18年 1 至 平成18年1:	月1日			
1株当たり純資産額	2,509円31銭	1株当たり純資産額	2,640円40銭			
1株当たり当期純利益	111円23銭	1株当たり当期純利益	89円06銭			
潜在株式調整後1株当たり当期純利	益金額について	(1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎)				
は、潜在株式が存在しないため記載して	こおりません。	①当期純利益	4,235百万円			
(1株当たり当期純利益金額の算定上の	基礎)	②普通株主に帰属しない金額 該当事項はありません				
①当期純利益	5,382百万円	③普通株式に係る当期純利益	4,235百万円			
②普通株主に帰属しない金額(取締役賞	与金)一百万円	④普通株式の期中平均株式数	47,557,502株			
③普通株式に係る当期純利益	5,382百万円					
④普通株式の期中平均株式数	48,391,630株	潜在株式調整後1株当たり当期純利益金額について				
		は、潜在株式が存在しないため	記載しておりません。			

# (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### (2) 部門別売上

当期において、売上区分の内容の見直しと改訂を行ないました。

新たに売上区分「00H(アウト・オブ・ホーム)メディア」を設置し、これまで「セールスプロモーション」の中に集計していた「交通広告、折込広告、スペース広告(媒体料・電気料)」の売上を移行しました。また、これまで売上区分「その他」に集計していた「雑誌海外、新聞海外、テレビ海外、ラジオ海外、デジタルメディア海外」の売上をそれぞれ売上区分「雑誌」、「新聞」、「テレビ」、「ラジオ」、「デジタルメディア」に移行しました。

当事業年度の各部門別売上は、改訂後の売上区分により集計されておりますので、整合性確保のため、

「①改訂後区分による部門別売上」では、前事業年度の部門別売上を再集計しております。

「②改訂前区分による部門別売上」では、前事業年度の各部門別売上は従前の区分、当事業年度各部門別売上は、改訂後の区分により記載しております。

# ①改訂後区分による部門別売上

(単位 百万円)

		期	別	前	事 業	年 度	当 事	業	年 度			
				自 至	平成 17 年 1 平成 17 年 1			成 18 年 1 成 18 年 12		増		減
区	分			金	額	構成比	金	額	構成比	金	額	増減率
広						%			%			%
	雑		誌		24, 298	6.3		21, 717	5. 7		△2, 580	△10.6
告	新		聞		35, 378	9. 2		35, 447	9. 4		68	0.2
取	テ	レ	ビ		177, 124	46. 0		179, 940	47. 5		2,815	1.6
扱	ラ	ジ	オ		3, 952	1.0		4, 193	1. 1		240	6. 1
高	デジタ	アルメラ	ディア		10, 682	2.8		12, 503	3. 3		1,820	17. 0
	00	Hメデ	イア		10, 410	2. 7		11, 989	3. 2		1, 578	15. 2
,	小	計			261, 848	68. 0		265, 792	70. 2		3, 943	1.5
制作売	セープロモ				62, 959	16. 4		57, 504	15. 2		△5, 445	△8. 7
上高	制作	• そ	の他		60, 041	15. 6		55, 507	14. 7		△4 <b>,</b> 533	△7. 6
,	小	計			123, 001	32. 0		113, 011	29.8		△9, 989	△8.1
,	合	計			384, 849	100		378, 804	100		△6, 045	△1.6

- (注) 1. セールスプロモーションの主な内容は、交通広告、屋外広告、ダイレクトメール、折込広告、POP (店頭販促物)の制作、スポーツ・文化事業等です。
  - 2. 制作とは、主として媒体(雑誌、新聞、テレビ、ラジオ、デジタルメディア)にのせる広告表現に関する企画、立案等を行う業務です。

# ②改訂前区分による部門別売上

(単位 百万円)

														(単位	4 日月円)
		期	別	前	事 業	į	年 度	当	事	業	年	度			
				自	平成 17 年	= 1	月 1日	自	平成	18年 1	1月	1 日	増		減
				至	平成 17 年	€ 12	月 31 日	至	平成	18年12	2月3	1 日			
157	$\wedge$										1				
区	分			金	額		構成比	金		額	構	成比	金	額	増減率
広							%					%			%
	雑		誌		23, 9	88	6. 2		4	21, 717		5. 7		$\triangle 2,270$	△9.5
告															
	新		聞		35, 2	30	9.2			35, 447		9.4		216	0.6
取	_				150 1		45.0							0.000	0.0
	テ	レ	ピ		176, 1	33	45.8		17	79, 940		47.5		3, 806	2.2
扱	ラ	ジ	オ		3, 9	52	1.0			4, 193		1. 1		240	6. 1
高	デジタ	タルメラ	ディア		10, 6	82	2.8			12, 503		3. 3		1,821	17. 1
	0.0	Ηメデ	, 7												
	00	ПУЛ	1)			_				11, 989		3. 2		11, 989	_
	小	計			249, 9	987	65. 0		2	65, 792		70. 2		15, 804	6.3
制作売		ー ル			73, 3	69	19. 0		į	57, 504		15. 2		△15, 865	△21. 6
上高	制作	• そ	の他		61, 4	91	16. 0		į	55, 507		14. 7		△5, 984	△9. 7
	小	計			134, 8	61	35.0		1	13, 011		29.8		△21, 849	△16. 2
	合	計			384, 8	349	100		3	78, 804		100		△6, 045	△1.6

- (注) 1. セールスプロモーションの主な内容は、交通広告、屋外広告、ダイレクトメール、折込広告、POP(店頭販促物)の制作、スポーツ・文化事業等です。
  - 2. 制作とは、主として媒体(雑誌、新聞、テレビ、ラジオ、デジタルメディア)にのせる広告表現に関する企画、立案等を行う業務です。

#### (3)役員の異動

来る平成 19 年 3 月 28 日開催の定時株主総会ならびにその後の取締役会および監査役会により正式決定の 予定です。

1. 代表取締役の異動

該当ありません。

- 2. その他の役員の異動
- (1) 新任取締役候補者

本多 昭次 (現:監査役(常勤))

(2) 退任予定取締役

金成 正信 (現:取締役執行役員兼財経本部長)

(3) 新任監査役候補者

監査役(常勤) 志形 雄三

(現:エヌ・アイ・エフSMBCベンチャーズ株式会社 専務執行役員) なお、志形氏は会社法施行規則第2条第3項第8号に定める社外監査役候補者であります。

(4) 退任予定監査役

本多 昭次 (現:監査役(常勤))

なお、本多氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。